

整備スケジュール

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
(千円)										
【公共下水道事業】										
汚水管渠事業				設計	工事			設計	工事	工事
管渠長寿命化計画策定事業										
管渠改築更新事業		設計	工事	設計、工事	設計、工事	工事				
公共樹新設事業										
処理場機器更新 (中央監視設備)										
下水道事業認可変更										
下水道施設の耐震診断										
【特環下水道事業】										
汚水管渠事業			設計	工事						
沙留下水終末処理場長寿命化計画 策定事業										
沙留下水終末処理場改築更新事業				設計	工事	工事	工事	工事		
公共樹新設事業										
下水道施設の耐震診断										
【下水道維持管理事業】										
処理場、管渠維持管理事業										



問合せ先

興部町上下水道課

〒098-1692 紋別郡興部町字興部710番地
TEL 0158-82-2131 FAX 0158-82-4058

興部町下水道 中期ビジョン

(2010～2019)

豊かなる
水環境を
未来へと
つなぐ
下水道

興部町の下水道事業は昭和51年に着手し、平成元年の供用開始から「都市の健全な発展」、「公衆衛生の向上」、「公共用水域の水質保全」に貢献してきました。

厳しい財政状況、人口減少や少子高齢化社会の到来、環境保全意識の高まりによる節水型社会への移行など、近年、社会情勢は変化しつつあり、下水道事業は大きな転換期を迎えています。

興部町では、国や北海道が示した方針を参考に、このような変化する社会情勢の中で、下水道の効率的な整備と管理、安定的な経営を図るため、今後概ね10年間の下水道が目指すべき将来目標と取り組み方針を示した「興部町下水道中期ビジョン」を策定しました。

平成23年2月策定

興部町上下水道課

興部町下水道中期ビジョン

現状と課題

<h3>下水道経営</h3> <p>下水道使用料は、総務省が示す使用料単価水準を満たしており、比較的安定した経営状態ですが、将来的には人口減少による料金収入の減少、老朽化する施設の改築更新費用の増大などが懸念されるため、経営基盤の強化が課題となります。有収率が低く多くの不明水を処理していることに対しても、対策が必要です。</p> <p>興部処理区と公共下水道の経営状況</p>	<h3>下水道ストック</h3> <p>平成21年度末の下水道管きょは汚水管35.5km、雨水管4.2kmを整備しています。このうち、敷設後30年が経過した管きょは汚水管2.9km、雨水管1.3kmで、今後も増加していきます。施設が老朽化すると処理場の機能停止によるトイレの使用制限や、道路陥没などのリスクが増大します。</p> <p>下水道ストックの推移</p>	<h3>汚水処理</h3> <p>水洗化率は興部処理区では91.0%、沙留処理区では70.6%（平成21年度値）です。人口減少や高齢化の進展により整備した下水道管への接続率が伸びないことなどが課題となっている中、興部処理場と沙留処理場の維持管理を巡回で対応するなど、低コスト化に向けた取り組みが行われています。</p> <p>水洗化状況</p>	<h3>浸水対策</h3> <p>興部処理区で雨水管が4.3km整備され、効果をあげています。今後は、対象とする降雨と許容する被害のレベル、およびその際の対策手法を明確にしつつ、事業を実施する必要があります。</p> <p>平成10年 台風5号の被害状況（元町地区）</p>	<h3>水環境</h3> <p>美しいオホーツク海の恵まれた水環境を活用したまちづくりを進めるために、興部町では、これまでに積極的な下水道整備を行い、水環境の向上に努めてきました。</p>	<h3>地震対策</h3> <p>興部町では今までに震度3を超える地震は発生していませんが、地震発生時には下水道施設の最低限の機能確保と二次災害を防止する必要があります。現在、旧「下水道施設の耐震対策指針と解説（社）日本下水道協会発行」によって整備した下水道管は全体の約8割です。まだ耐震診断を実施していない処理場施設とあわせて、新「指針」による耐震診断を実施する必要があります。</p>	<h3>住民サービス</h3> <ul style="list-style-type: none"> ● 下水処理場の施設見学・講演 ● ディスポーザーシステムの導入 ● 広報を用いた情報発信 ● 水洗便所改造等資金貸付制度 <p>などを実施しています。</p> <p>興部町HPと広報</p>	<h3>資源・エネルギー</h3> <p>興部町では、下水処理の課程で、興部処理区及び沙留処理区から、年間約290tの下水道汚泥（脱水汚泥）が発生します。この汚泥は興部町の民間業者を通じてコンポスト化し、積極的に緑農地利用に努めています。</p>
---	--	--	---	--	--	---	---

求められる役割



基本方針

基本理念

豊かなる水環境を 未来へつなげる下水道

将来目標

<h3>下水道の普及・促進</h3> <ol style="list-style-type: none"> ① 汚水整備 下水道区域内の未普及区域において、汚水管の整備を進めます。興部処理区は東町と新町、沙留処理区は旭町を、順次整備していきます。 ② 雨水整備 平成18年までに緊急に対応すべき浸水対策は概ね整備されましたが、住民が安心して暮らせるように、必要に応じて雨水排水管の整備を進めていきます。 ③ 下水道施設の耐震診断（処理場・管きょ） 処理場施設、下水道管路施設ともに、耐震診断を行った上で、必要に応じて耐震対策を実施します。 	<h3>経営基盤の強化</h3> <ol style="list-style-type: none"> ④ 水洗化率の向上 下水道に関する情報発信を行い、住民に理解を得ながら、水洗化率の向上に努めます。 ⑤ 下水道使用料の検討・改定 経営の効率化を図るとともに財政シミュレーションを行いながら、経営状態に合わせた下水道使用料の見直しを行います。 	<h3>効率的な下水道施設の維持・管理</h3> <ol style="list-style-type: none"> ⑥ 長寿命化計画（管きょ・処理場） TVカメラ調査や機器診断を計画・実施し、現在の劣化状況を把握した上で、改築・修繕・部品交換・機器更新をライフサイクルコストが最小となるような、「長寿命化対策」の計画を策定します。 ⑦ 下水道台帳システムの導入 平成21年度に導入された管きょ台帳システムに続き、今後は、処理場やポンプ施設などの施設情報を整理した設備台帳システムの導入をすすめ、効率的な業務遂行に努めます。 ⑧ 工営企業会計移行の検討 経営基盤の強化を目的として、公営企業会計への移行を検討します。 	<h3>住民サービスの向上</h3> <ol style="list-style-type: none"> ⑨ HP・広報を用いた情報公開 町民の理解と協力を得るため、広報やパンフレット、ホームページを活用した分かりやすい下水道情報の発信・公開や、環境教育に努めていきます。 ⑩ ディスポーザーシステムの導入 ディスポーザー設置に対する補助や使用方法の説明などにより、ディスポーザーの普及促進に努めます。
--	--	--	--

具体的施策